

7.12 音楽発表会

7月12日（金）に今年度初の発表会「前期音楽発表会」が行われました。この時期になると、音楽室から学生たちの歌声がよく聞こえてきます♪選曲は、童謡からアニソン、ポップスまでさまざま！学生たちが選曲し、振り付けも考えて披露しました。発表会が初めての1年生も堂々たるものでした！保護者の皆様にも、学生たちの日頃の学習の成果を見ていただくことが出来ました。

次回は玉名市民ホールでのピアノ発表会です。
保護者の皆様のご来場お待ちしております。



☆前期ピアノ発表会☆
令和6年7月28日（日）
開始 13：00～16：30（予定）
玉名市民会館ホール棟 マルチホール

夏季休業のお知らせ

★8/8～8/16は夏季休業期間となりますので学校は開いていません。
★夏のレジャーでの怪我や交通事故には十分に気を付けてくださいね！

校長室の窓から

「ペナルティー」

バンド海援隊を率いる武田鉄矢は歌手というより俳優、それも現在までの役柄からか先生のイメージが強い。事実彼は福岡教育大学卒、教員免許を有しており、教育実習時の話を聞いたことがある。授業は社会で幕末が題材。〇〇年に何があったとのありきたりな授業を避けた彼は、まず生徒達にその時代の人達のイメージを植え付けたという。当時日本人の平均身長が150cmだった時代、身長180cm体重110kg、瞳はぱっちり真っ黒で西洋諸国の人達からその瞳は東洋の黒真珠と称えられていた。正しく当時の軍人で政治家西郷隆盛のイメージである。このように偉人のイメージから授業が始まったら私でさえ歴史の授業に釘付けになっていたように思う。

私が高校入学当初、漢字のテストがよく実施され、基準点に満たない私は頻繁に怒られていた。しびれをきらした担任の先生は、漢字のテキスト全部、一文字を100回明日までに書き写してくるよう指示された。寝ないで書き写しても到底終了しない量であったが朝までにノート一冊を埋め尽くし私はそれを提出した。しかしその後漢字テストを毎回クリアすることはなかった。自業自得ではあるが、ペナルティーを課され、罰としての書き取りは効果につながらなかったといえる。芸人で10年以上も少年院で「命の授業」と題して漢字を中核に講演を続けているゴルゴ松本の授業では、つらい（辛）という文字に一を足せばしあわせ（幸）。（逃）げるのしんによるてへんに替えると（挑）む。（吐）くから一を除くと（叶）う。女と土台の台をくおえると（始）まりになる。あげればきりがながないが、このような注釈・授業なら、劣等生の私でも漢字への興味関心は高まったに違いない。

数日前の新聞には水泳授業に遅れた児童がプールサイドを罰として走らされ足にやけどを負ったとの記事。また五輪出場選手の女子体操主将は飲酒喫煙による社会的ペナルティーとして五輪参加を辞退したとの記事。

前述したようにペナルティーによる指導に効果が望めないと思えば胸が痛む。

文責 高木 三朗